



はばた  
翔け!!  
未来を担う若者たち

1月10日、多古町コミュニティプラザ文化ホールで成人の日記念式典が開かれ、130名の新成人が参加しました。式典では、新成人代表あいさつや二十歳の言葉が発表され、大人の仲間入りをした日を迎えるに際し、両親などへの感謝の言葉や将来への決意が述べられました。また、実行委員が企画した成人の集いパーティーでは久しぶりに会う友達や恩師との再会を楽しむ姿を見ることができました。

新成人代表あいさつ



小川将紀さん

者、または学業を継続している者など立場はさまざまではあります。成人となった以上、これまでよりもさまざまな権利や義務が生じることを肝に銘じ、社会人としての自覚を持って恥じるのではないような行動をしていく覚悟であります。

この二十歳という節目の年を迎え、自身を振り返ってみると多くの方に支えられていたことを改めて実感します。学生生活でお世話になった先生方、温かい目で私たちを見守ってくださった地域の方々、そしてなにより一番身近な存在でいてくれたこのままで育ててくれた両親には感謝の気持ちでいっぱいです。

私たちは、この自然豊かな多古町で生まれ育ち、ここにいる仲間たちと互いに励ましあい、時には良きライバルとして競い合ってきました。私たちの中には既に社会人として働いている

「日の光をかりて照る大いなる月たらんよりは、自ら光を放つ小さな灯火たれ」という小説家である森鷗外の言葉があります。大いなる月も、太陽の光が反射することで光っている。たとえ小さな光であっても、自ら光を放つ灯火のようであれば。という意味なのですが、私たちも皆さまの力添えをいただくばかりでなく、自分自身が責任を持ち、後に続く後輩たちの手本となるような社会人を目指していくことを誓い、簡単ではありませんが代表あいさつとさせていただきます。

実行委員

一生に一度の成人式で実行委員という大役を任命され、新成人代表としてあいさつさせていただいたことはとても光栄でした。実行委員のメンバーとして限られた時間の中ではありましたが、皆で協力して企画し、成人式を迎えられたことをとても嬉しく思います。また、二十歳の言葉の発表や受付・広報の写真係、その他いろいろと率先して手伝ってくれたみんなにはたいへん感謝しています。(写真右端)

小川 将紀さん(小玉)

忙しい中、成人の集いの企画・運営などいろいろと奔走してくれた実行委員の方々に成人式を振り返って、感想をうかがいました。

松橋 里佳さん(栗田)

二十歳の言葉や受付など各係の引き受け手を探すがとても苦労しました。そんな中、快く引き受けてくれ堂々と素晴らしい発表をしてくれた友人、当日の忙しい朝にもかかわらず手伝ってくれた友人たちをとても誇りに思います。成人式の準備を着々と進めていくにつれ、自分自身も成人するのだという実感が湧き、実行委員という仕事はとても良い経験になりました。何よりも、式に携わることができてとても嬉しく思います。(写真左端)

佐藤 良樹さん(神行)

実行委員として活動し始めたのは昨年の10月頃でした。この時はまだ自分が成人を迎えるという実感が持てずにはいましたが、カレンダーを見るたびに少しずつ実感が湧き、期待と迫る成人式に焦りを感じていました。いざ成人式を迎え、終わってみるとあつという間だったと思います。立食パーティーもうまくいってよかったです。今後は「大人」としての自覚と責任を胸に歩んでいきます。(写真右2番目)

幸島 里佳さん(高根)

実行委員をやるにあたっては、集まって話し合いをしたりいろいろな人に連絡をしたりと大変なこともありましたが、たくさんの方々が協力してくださり成人式がとて待ち遠しかったです。当日はみんなに久々に会って懐かしい話をしたり立食パーティーなどで楽しいひと時を過ごすことができました!これからは大人としてしっかりと責任を持ち何事にも一生懸命取り組んでいきます。(写真左2番目)

